

下水道管路技術向上

管診協

管路診断コンサルタント協会は、東京都千代田区の霞山会館で通常総会を開いた。

懇親会の冒頭、あいさつに立った山崎義広会長（三水コンサルタント社長）は「設立から25年目を迎えた。管診協は国の施策に沿って下水道管路のコンサルト業に精通した技術者集団として活動してきた。現在会員は全国83社からなり、昨年の会員売上は1850億円（対前年比6%増）。活動報告になるが、技術講習会はウェーブを用いたハイブリッド方式で行い、毎回活況となっている。研究事業では、日本下水道新技術機構



と共同研究に取り組んでいる。また近々、下水道管路のアセットマネジメントに関する実務書を発刊する予定である。賛助会員の規定を設けたので、異業種と交流を深めることで活動の幅を広げていきたい」と述べた。写真。

(10・28)

